

附帯決議案第1号 議案第18号 令和5年度東郷町

一般会計予算に対する附帯決議 討論一覧(討論順掲載)

賛成討論 石橋直季 議員

町民の方からの「今ある」公園についての声はとても多い。草刈り回数の増加など改善は見られるが、対応が追いついていないとは言えない。公園について長寿命化計画作成が予算案に計上されたことは評価できるが、計画完成を待たずしての早期対応が必要。およそ3年間、コロナ禍の影響での財政の予測不可能性が生み出した余裕を活かさない手はない。本年度当初予算案編成の状況を見る限り、今の今ならば、十分に既存公園の老朽化に対する補正対応も可能と思われる。日々、町民の皆さまから直接お声をいただく一代表として、本附帯決議案に賛同する。

反対討論 門原武志 議員

議案第18号に反対した近藤議員がこの案を出すのは筋が通らない。附帯決議というのは案を認めたくて不十分な面に注文を言うためのものだ。予算に反対したからといって何も言うなということではなく、一般質問など別の形で問題提起する方法もある。普通の決議案で公園整備について議論する方法もあり、それならば上鏡田公園築造への賛否を超えて話し合えた。補正予算案が多いのはいかがなものかと発言したことがある近藤議員が「補正予算も視野に入れた対応」と言うのはいかがなものか。「予算執行に際しては、国や県からの補助金・交付金を十分に調査の上、活用できるよう努めること」の「予算執行」は「予算編成」のことだと思うので、不正確な案には賛成しにくい。最後の議会で提案された近藤議員の期待に応えられず残念だが反対する。

賛成討論 高木佳子 議員

議案第18号 令和5年度東郷町一般会計予算に対する附帯決議案に対し、賛成の立場から一言述べさせていただきます。近藤鑛治議員から提出されました附帯決議案に私の思いも同様であります。具体的には昨年2回にわたって上鏡田公園築造事業について反対の立場をとってまいりました。その理由の一つとして「維持管理の問題」を上げさせていただきました。既存の公園の維持管理が十分になされていないと思える状況から、そのように判断いたしました。しかし、住民への意向調査や説明会の実施等、住民に十分に理解を得られたものと信じ、この度の予算案に賛成いたしました。この度、提出された附帯決議案は大変に重要な点をあげられているものと捉えています。各地域にある公園を子どもたちが安全に安心して遊べる場にしてこそ新しい公園も生きると思います。長年訴えて来られた近藤議員の思いをしっかりと受け止めていただきたいと申し上げ私の意見といたします。

賛成討論 山下茂 議員

本予算案の議論の大きなテーマである上鏡田公園整備事業への賛否に関して昨年来の度重なる補正予算の否決という流れがありましたが、その大きな理由として新規公園より既存公園の整備を優先すべきという点があったのではないかと考えます。実は上鏡田公園の近隣住民からも、まずは近接する涼松せせらぎ公園の改修工事を強く望む声が上がってきており、近隣住民の間には上鏡田公園整備と同じく大きな要望があることは間違いありません。しかしながら昨年5月の臨時議会から既に指摘されていたにも関わらず、既存公園への整備予算が十分に盛り込まれているとは言えずこれらへの対応は先送りであり、早期に補正予算計上も含めて予算化を求めるものである。来年度の積極財政の下で既存公園の十分な整備予算と、新規の公園や広場の整備の両輪を回すことこそが今の本町の公園整備の命題であり、一部の地区に限らず幅広い町民の声に応えることになるものと考えます。

賛成討論 中野まさひろ 議員

新規の公園築造と既存の公園の老朽化対応は、どちらが優先ということではなく、両方とも進めなければならない事業である。来年度予算に計上されている「公園施設等長寿命化計画策定業務」は、令和5年度中の計画策定、令和6年度からの遊具等の更新・修繕を予定しているが、計画策定の前の調査において緊急性のある修繕等の必要性が判明した箇所については、早急に修繕等の対応をすべきである。その際には、財政状況を考慮しながら、令和5年度の補正予算も視野に入れた対応が可能であれば、補正予算の編成を躊躇する必要はない。早急に補正予算を編成し修繕等を実施すべきであり、本附帯決議に賛成する。

賛成討論 加藤達雄 議員

「せせらぎ公園」の荒廃状態を憂慮し改修を望む御地元の多くのお声を始めとし、某公園では遊具の定番である滑り台が老朽化で安全面により撤去されたが、3年経っても復旧されず、小さいお子さんを持つお母さんから「いつ直るんですか」と聞かれても、お答えすることができません。この度の「公園施設等長寿命化計画」策定事業は遅きに失したと思います。でも期待はしております。「長寿命化」とは、建築物等が経年劣化による汚れや傷みが目立ち始め、これらを直しながら使い続けることであって、今述べたこれら酷い案件は、この状態を超えております。1年間も長寿命化計画を待ってる状況ではありません。緊急的行動すべきであります。これこそ新年度予算編成で幾度も出てくる「財政調整基金」で対応すべきであると思い、このことを強く申し上げ、本附帯決議に賛成の立場での討論とさせていただきます。